# 令和４年度　　ふかさわミル保育園　事業計画

【事業計画の概要】

**基本理念　《子どもが子どもらしく生きる》**

保育園の生活を通して、平和な社会を創造する。そのために、子どもたちが人とのつながりを大切にしながら、毎日を明るく楽しみながら生きていくことができる自立した力をそれぞれで身に付けていけるようにする。

**長期計画**　・・・主体的な保育を見通しをもって行う

・保育について　　①自分たちで学ぶ姿勢を継続する（勉強会を行うと同時に自分たちで学びを作りだす。
②園庭の環境つくりを通して、異年齢児保育を深める。
③各クラスごとの毎日の振り返りの中で保育の質を高める

・食育について・・・　いつでも初心に立ち返ろう

食べたいものを　食べたいだけ　楽しくたべる
「食べる力・生きる力を育てる」「異年齢で食べることを楽しむ」
「食べることを直接保育につなげる」（職域を超えて保育を共有する）

・職員の研修について　　①自分たちで学ぶ姿勢を継続する
②勉強会を行うと同時に自分たちで学び作りをする
③職種の違いを相互に理解・協力して園全体で一人ひとりの子どもの見方を検証し保育の質を高める
④係の仕事（保育）を職員全員で行う
⑤ファシリテーションを行いコミュニケーションの基本に立ち戻る

・安全・衛生について・・・地域と合同で避難訓練をしたり、自園での防災訓練を色々な角度から検証する。また、防災管理者の数を増やしていく。

**短期計画**・・・一人ひとりを大切にする保育

★全体計画を職員全員で構築する

①見せる行事から参加する行事へ（少しずつ方向性が見えてきたものを、再度職員と構築していく）　係の年間カレンダーを職員みんなで考え、計画の実施に参加する

行事を日常の保育に‥・・・ハレの日は設定するが行事のための保育はしない
点から線へ（ゾーンのように広げていく）・・・保育を生活に繋げる
継続することで保育の質を高める

②保護者との関係性の充実（おたより・連絡帳・児童票等の書類の見直し）デジタル化
〇発達の道筋や順序と保育内容とを合わせた形で記載する
〇ステップ表の作成（チームの共通認識を毎日の振り返りの中で行う）
〇写真や映像を活用し日々の記録などを通して肯定的な視点で共有する取組を進める

③全体計画を職員全員で構築する
〇行事や〇〇デーを全体計画に落とし込むことで１年の見通しと、移行及び異年齢を保育の中に並行して行う

④コロナ等を含む危機管理等今の社会に適応できるマニュアルを検討し、それに伴う行事のひな型の変更を構築する。(少人数の異年齢保育の徹底)
密を避けた異年齢保育の構築と実践

⑤ステップ表の活用…チームの共通認識を定着させる

【保育計画のポイント】

**保育の方針　《私は私。でも、私は私たちの中の私。》**

**子どもの気持ちを尊重し主体性を育てる保育**

**〇多様な価値観の中でお互いを認め合い　子が育つ群れを形成する**
**〇子どもの主体的な活動の場を保障する（色々な企画をみんなで構築する）**
**〇一人ひとりの特性に応じた保育（移行・異年齢保育）の検証**
**一人ひとりを大切にする保育・・・「ひとり」を見ながら「みんな」を見る**
**「みんな」を見ながら「ひとり」成長をきちんと評価する**
**そして「ひとり」と「みんな」の関係を根気強く**
**職員みんなでみまもっていく**

**※計画を立てる事を担当制とせずチームで子どもの進行状況に合わせる事ができる、幅を持った見通しで行ってみる（プロジェクト・マップｅｔｃ・・・・・・）**

**保育目標**
**三つの柱**

**１．知識及び技能の基礎を養う**
**２．思考力・判断力・表現力などの基礎を培う**
**３．学びに向かう力・人間性を養う**

【保育の方法】

**見守る保育**

保育の目的を実現するために、私たちは、環境を通して子どもの発達を保障する。これは、子どもの自ら発達しようとする力を引き出し、可能な最大限度まで発達させることを意図した環境を用意した保育を行う。

**１．　生活と遊び・ゾーンとコーナー保育**

子どもが自発的・意欲的に関われるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切にする。

**２．　一斉保育から選択する保育**

子ども一人ひとりの発達について理解し、一人ひとりの特性に応じ、発達の課題に配慮して保育する。

**３．　シティズンシップ**

子どもは、多様な大人、子ども同士の体験から、社会を学んでいく。

**４．　見守る保育**

保育者は、子どもが自発的、主体的、多様な人との関係の中で活動するために、いつでも駆け込める信頼できる存在でいること。

**５．　異年齢児保育**

子ども同士の中で刺激し合うということから、様々な年齢との関わりを保障する。（見て、真似て、関わって、教わって、教えて、一緒にやって）

**６．　チーム保育**

子どもは、職員のチームによって、多様な社会との関わりを学習する。

**７．　インクルージョン保育**

子どもを、男女、しょうがい、年齢による刷り込みを持たない。

**８．　やってあげる保育から見守る保育へ**

子どもを自立していくこと、自己の意思を表現することを保育者は妨げない。

**９．　保育者の人権**

保育者は、子どもに奉仕をしたり、世話をする人ではなく、一人の人格を持った人として子どもと共に生活する。

**１０．保育の原則**

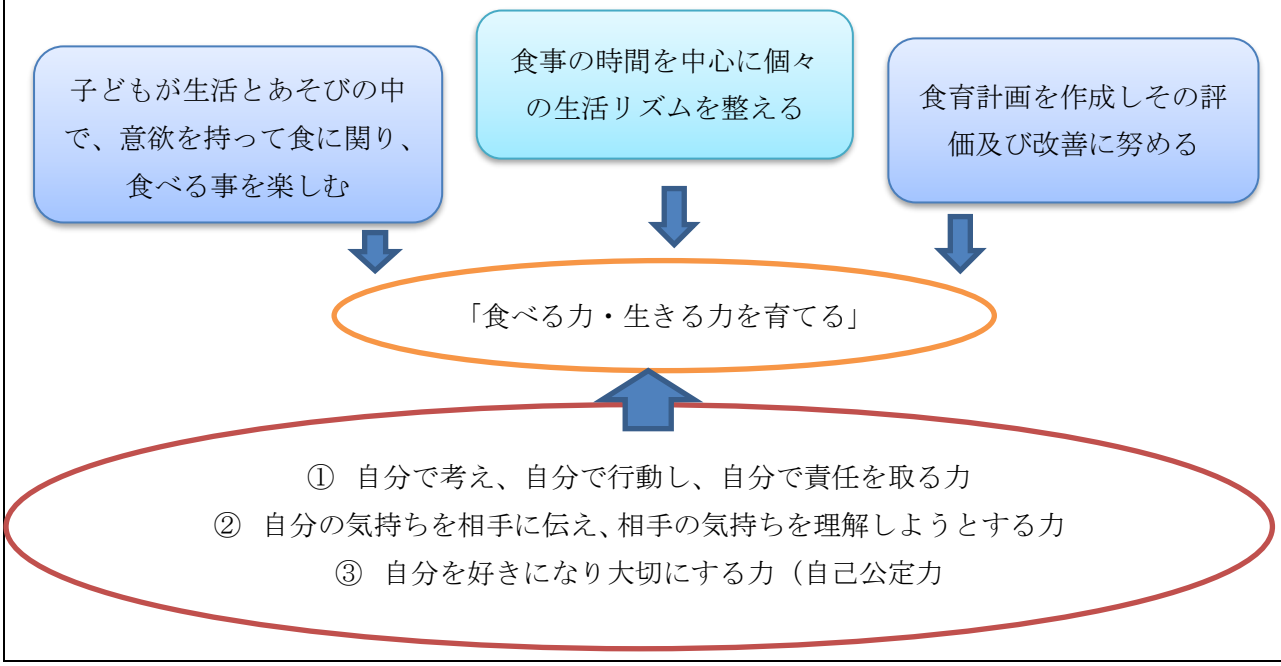
乳幼児基本法（案）に則った保育を展開する。

【食育計画のポイント】

一人ひとりを大切に　　「食を営む力」の基礎を培う

保育園の全職員で共通意識をもってかかわる

主体性を営む食育とは




【保健計画のポイント】

全職員の連携、協力の下、一人ひとりの子どもの健康の保持及び増進ならびに安全の確保と共に園の子ども集団全体の健康及び安全の確保に努める。

・子どもの健康状態や発育、発達状態について常に把握する。
・日常の健康観察を重視し、速やかな対応措置を行う。
　・定期健康健診（嘱託医による）　　年２回（６月プール前健診・１１月内科健診）
　・乳児健診（嘱託医による）　　月１回（年１２回）０歳児クラスのみ
　・歯科健診（嘱託医による）　　年１回（６月）
　　※健康診断結果の保護者への通知・掲示
　・入園前健診（嘱託医による）
　・身体測定
　・予防接種の確認と呼びかけ
　・保健だよりの発行
　・感染症疾患状況の把握・感染症報告（掲示）
　・衛生管理
　・職員（及び配慮の必要な保護者）の健康管理
　・職員（及び保護者が相談しやすい環境をこころがける
　・健康診断の実施
　・細菌検査
　・インフルエンザの予防接種
　・麻疹等疾患・予防接種等の把握（自己申請による補助）
　・ストレスチェックの実施
　　※危機管理マニュアル及び危機管理年間計画表を職員で検討・評価する

（レクリエーションや勉強会を十分にとり、働くことの楽しさを感じ、自分の存在を他の職員に認めてもらえるような関係性の構築の環境を整える）

・新型コロナウイルス感染症対策
　・抗原検査キットの管理・配布、使い方指導
　・感染状況の把握と報告
　・リアルタイムの情報発信
　・消毒、登園時・食事前の検温、健康観察　等

【衛生計画のポイント】

栄養士製作中・・・・・・園全体で研修

【安全管理・防災管理】

非常時に備えて全職員が一体となって、危機管理及び防災対策について日常業務に緊張感を持って従事し、緊急時には、報告・連絡・相談などを機敏に行います。そのために私たちは次のような計画を作成し実施します。

☆避難訓練・消火訓練（年間指導計画に従い毎月２回以上行うものとする）
☆起震車訓練
☆防犯訓練
☆隣接施設との合同訓練
☆広域避難所にての訓練及び引き渡し訓練（震災を考える日）

【家庭との連携】

○保育参観及び保育参加・行事等通して、保育の理念・方針等をていねいに発信していく。
○問題解決においては、１対１の対応と１対多の対応の多様化を図り、チームでの対応を円滑に行えるよう、通常より情報の交換を密に行う
○お迎え時等の保護者同士の交流の場の確保　（業者のレンタル絵本導入）コロナにより中止
○キッズリーの導入
○視診・引き渡しの職員を固定

【研修計画】

保育の質向上への重点ポイント
園庭改造
＊園内研修・・・感染症・エピペン研修・世田谷ブロック栄養士研修
＊外部研修・・・世田谷区主催研修、ギビングツリー・子ども保育環境研究所・防災管理者研修他
＊キャリアアップ研修・・・各種団体主催研修

【地域貢献計画】

| |
|---|
| ✾幼稚園・保育園・小学校との連携・・・スタートカリキュラムの構築<br>✾積極的なボランティアな受け入れ・・・地域への発信<br>✾養成校との連携・・・積極的な実習生の受け入れ・学生及び教諭との交流<br>✾地域への活動・・・畑からの発信（朝市等） |

【第三者評価】

| |
|---|
| 今年度受審予定（12 月～1 月頃） |

【自己評価】

| |
|---|
| 保育の質を高める事を目的に人事考査と合わせて自己評価を行う。また、年度末には全職員が参加して施設自己評価を行う。施設自己評価についてはホームページに記載する。 |

【修繕計画】

| 内　　容 | 時　　期 | 金　　額 |
|---|---|---|
| 園庭整備（東京都木育事業（倉庫)、駐輪場設置含む) | 9 月 | 2,000,000 円 |
| 害虫駆除 | 6 月 | 60,000 円 |
| クーラー清掃 | 10 月 | 100,000 円 |

【物品・設備備品購入計画】

| 内　　容 | 時　　期 | 金額 |
|---|---|---|
| キッズリー配信用スマートフォン（０・１・２歳児クラス） | 4 月 | 360,000 円 |
| パソコン | 8 月 | 100,000 円 |
| AED | 6 月 | 400,000 円 |
| 食器類 | 10 月 | 200,000 円 |

【職員の配置】

| | |
|---|---|
| 園長 | 伊藤里美 |
| 副園長 | 橋本英明 |
| 主任保育士 | 田村　知 |
| ふんわり組 | 5 名（正職保育士） |
| まっすぐ組 | 4 名（正職保育士） |

| | |
|---|---|
| ぐるぐる組 | 4名（正職保育士） |
| らんらん組 | 2名（正職保育士） |
| もりもり組 | 2名（正職保育士） |
| ぐんぐん組 | 2名（正職保育士） |
| 栄養士 | 4名（栄養士） |
| 看護師 | 1名（正職看護師） |
| 非常勤 | 保育士3名　保育補助1名<br>用務2名　事務1名 |

【園児構成】

| 年齢 | 4月在籍数 | 途中受入可能数 | クラス編成 | |
|---|---|---|---|---|
| 5歳児 | ２１ | 2 | さんかく（３・４・５歳） | ぐんぐん　５歳 |
| 4歳児 | ２３ | 0 | しかく　（３・４・５歳） | もりもり　４歳 |
| 3歳児 | ２３ | 0 | | らんらん　３歳 |
| 2歳児 | ２２ | 1 | ぐるぐる（２歳） | |
| 1歳児 | １８ | 0 | まっすぐ（１歳） | |
| 0歳児 | １０ | 0 | ふんわり（０歳） | |

【年間行事計画】

| 月 | 計　　画 | 月 | 計　　画 |
|---|---|---|---|
| 4月 | ウェルカムパーティ | 10月 | みんなであそぼう |
| 5月 | 保育参加・個人面談開始 | 11月 | 園外保育・保育参観・ハロウイン |
| 6月 | 保護者会・歯科健診・プール前健診 | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 七夕 | 1月 | 観劇 |
| 8月 | 夏祭り | 2月 | みんなでうたおう |
| 9月 | 震災を考える日 | 3月 | おもちつき・お別れ会・お別れ遠足<br>卒園式 |

定例の行事

| | |
|---|---|
| 各月 | お誕生会・身体測定・乳児健診・災害訓練・避難訓練 |
| | |




## 保育の質の担保

主体的にじつくり
あそべる　子どもをつくるには？

保育展開図を職員と一緒に保育を検証しながら構築する

クラスの振り返りの時間を
確保する

行っている保育のねらいが共通認識になっているか確認する

書類・保育準備
時間を設ける

考えたことを実践する

結果を評価し次に繋げる

園庭つくりから

STEAM

SDG s

保育の質を
深める

作りこむ → 作り続ける

# 庭を継続的に保育に活用する

自分たちの力で遊ぶ時間を増やす

常に進行形の園庭

自分たちの保育が実現できる環境設定を目指す

園庭でもサーキット運動

園庭でも絵画活動

## 働き方改革の継続

書類作成時間を確保する

変形労働時間を取るが週40時間を徹底する

ファシリテーションを確実に行う

会議を見えるか（充実させる）

学びの舎を作る（勉強会を充実させる）自分たちで学び合う風土

土曜日保育
5チーム
5週1回勤務

7：30～16：30
10：00～19：00

各2名
計4名

